

許 可 番 号	倫-821
研 究 課 題 名	前置胎盤における MRI を用いた出血リスク評価の後方視的検討
診 療 科	産婦人科
研 究 責 任 者	田中里美
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	田中里美
研究の目的と方法	<p>前置胎盤の帝王切開で最も重篤になりうる合併症は大量出血である。現在、経腔超音波断層法や MRI を用いた術前診断が行われているが、予想に反した大量出血を度々経験することがある。先行研究として、子宮の前壁に付着した症例で出血が多い(1)ことや、側壁付着では少ない(2)こと、子宮頸管長の短さが出血のリスク因子である(3)などの報告がある。</p> <p>本研究では、順天堂静岡病院で分娩となった前置胎盤の症例を収集し、カルテレビューによる後方視的検討を行う。胎盤の位置や子宮口との関係、頸管長などを MRI で測定し、出血量と比較することで、大量出血を起こす因子を同定する。また、既報のパラメーターを複数用いることで Index を定義し、術前に出血リスクを正しく評価し、出血量を推定することを目的としている。</p> <p>また、当院で採用している周産期管理システムを用いて患者背景や合併症などのデータも効率よく活用することができる。これらのデータを収集し統計解析することで、新しい術前のリスク評価方法を提案する。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	診療記録
研 究 対 象 者	当院産婦人科に西暦2014年1月1日から西暦2020年3月31日の間分娩となった前置胎盤の症例
研 究 対 象 期 間	西暦2014年1月1日から西暦2020年3月31日の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱い に つ い て	<p>使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。</p> <p>研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

	<p>順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：田中里美</p>
--	---